

令和5年度第4回安城市総合教育会議

日 時 令和6年2月15日(木)
午後3時から午後4時
場 所 教育センター2階 会議室
出 席 者 市長 三星 元人
教育委員会 石川 良一 教育長
加藤 滋伸 教育長職務代理者
久恒 美香 委員
深津 敦司 委員
中村 沙織 委員

出席した職員

横山 真澄 企画部長
横手 憲治郎 企画部行革・政策監
大見 雅康 子育て健康部長
神谷 徹 教育委員会教育振興部長
加藤 浩明 教育委員会生涯学習部長
鈴木 淳之 企画部健幸=SDGs課長
籠瀬 博敬 市民生活部アンフォーレ課長
澤田 一樹 子育て健康部子育て支援課長
澤田 敦至 教育委員会総務課長
鳥居 貴之 教育委員会学校教育課長
大見 徹也 教育委員会生涯学習課長
津口 嘉己 教育委員会スポーツ課長
邨澤 英夫 教育委員会文化振興課長
杳名 智和 企画部健幸=SDGs課課長補佐
野村 勝美 教育委員会学校教育課課長補佐
杉本 慎吾 教育委員会総務課庶務係長
稲垣 創一 企画部健幸=SDGs課企画政策係専門主査

傍 聴 者 なし

次 第

1 開 会

2 市民憲章唱和

3 あいさつ（要旨）

市長：教育委員の皆様には、日ごろから安城市の教育行政に格別な御理解と御支援をいただき、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

本日の議題は「第3次安城市教育大綱（案）について」である。

前回の総合教育会議において概要を説明させていただいた。前回の総合教育会議で、教育委員の皆様からご意見をいただいた後、パブリックコメントによる意見募集を行った。その結果報告と最終案について事務局からご報告させていただくので、意見などをいただきたい。

教育長：日頃より教育行政への力強いご支援本当に感謝する。

年々、複雑、多様化、深刻化している子どもたちの問題行動事案や苦しんでいる子どもたち、保護者、家庭への対応を重ねながら、安城市の未来になかなか明るい見通しが持ちづらいと感じている。

行政として個別の問題に丁寧に向き合って解決を図っていく手立てを今後充実させていくとともに、これからの時代をたくましく生きて、将来の市民となっていくべき子供たちを支えていくことができるような人的資源、教育環境を整えなければいけない。

本年度10月から、中学校の休日部活動の地域移行を始めている。実際に動き出すことで課題が生まれてきており、子どもたちに関わる誰もがそれぞれの立場において自分事として受け止め、多くの力で解決していくような、そんな流れを作ろうとしている。

さらにコミュニティスクールの仕組みの導入に向けて準備を来年度早々からスタートさせる。4月からスタートする第9次安城市総合計画で掲げている「子どもを核としたまちづくり」。これは今後の安城市の維持発展にとって必要なことだと思っている。今日はその第9次安城市総合計画を踏まえた第3次安城市教育大綱の案に対するパブリックコメントへの対応が議題となる。新たな一歩に向けての協議よろしくをお願いしたい。

4 議 題

議題（1）第3次安城市教育大綱（案）について

健幸=SDGs 課課長補佐説明

市長：ただいまの説明に対してのご意見、ご質問等をいただきたい。

久恒委員：「いのちの教育」の解説が入り、とてもわかりやすくなった。

加藤職務代理者：コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との違いがよくわからないという意見がある。確かに一般の市民の方はなかなか難しいかなという感じがする。

深津委員：コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の運営組織について、地域住民、学生、保護者等とあるが、地域住民の地域とはどこまでを指すのか。わかりやすく説明した方が良い。

沓名健幸=SDGs 課課長補佐：わかりにくい部分については必要に応じて修正を加える。

市長：用語の解説については再度協議をし、平易な言葉で一般の方々にわかりやすい形で表現していただきたい。

5 報告事項

6 その他

7 閉 会